

支部長年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。旧年中は支部活動の上にお力添えいただき誠にありがとうございました。

現在、松原支部では4月29日の全教一斉ひのきしんデー、9月末の全教一斉にをいがけデー、ようぼく成人講座、毎月の組単位による地域のひのきしん活動を主体に活動しております。また、「ひのきしんクラブまつばら」として市民まつりでのひのきしん、松原市民音楽祭での雅楽演奏も行っております。更には「本部月次祭に参拝したいけど足が悪くてなかなか行けない」との声をいただき毎月26日に『おちばがえり号』を運行。また「なんでもたすけあい隊」として、葉刈りや家具の移動。障子、網戸の張り替えなどのひのきしん活動もさせていただいております。

今年は平成から新たな元号になる年、松原支部も地域のように同志の繋がりを更に深めるためにも新たな活動を展開させていただきたいと思っております。どうぞ本年も支部活動の上にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

立教182年 元旦

松原支部長 小松崎義博

春季大祭

1月26日 11時30分から

教祖がこどもの成人を促される上から、115歳の定命を25年縮められ、現世での姿を隠した明治20年(1887年)陰暦1月26日にちなんで勤められます。



支部活動連絡版

◎布教部

定例にをいかけデー

1月28日(月)13時～14時

河内松原駅前 交番横広場
神名流し・路傍講演・チラシ配り・
ごみ拾い etc

服装:自由 チラシは各自でお持
ちください。路傍講演用のフリップ
(原稿)は用意しています。

◎婦人会

*初例会のお知らせ

1月30日(水)13時30分

松繁分教会にて

担当)森繁礼子

☎333-5001

◎学生会(報告)

*餅つき大会 12月22日(土)圓部分教会
松原・東住吉合同行事、8名の参加がありました。



松原支部 地域ひのきしん

河内天美駅前広場 第1日曜 5時～6時

天美北児童公園 第2日曜 9時～10時

阿保公園 第3日曜 7時半～8時半(雨天中止)

阿保東部第一公園 第4日曜 9時～10時

松原支部なんでもたすけあい隊

各家庭では『一寸したいこと・一寸手を加えたいこと・一寸直したいこと』等、色々にあると思われます。しかし手が足りない、年寄りばかりで動けない、お困りの方が居られましたら、遠慮なくご相談下さい。例えば

障子紙を張りたいー 庭木を切りたいなー 溝を掃除したいなー

網戸が破れたなー この品物が邪魔やなー などいろいろに

連絡先 本芝福分教会 ☎(331-0007)

小松崎 ☎(090-4301-7792)

松原支部、本部月次祭参拝車両運行のお知らせ <<1月26日分>>

※定員になりましたので締め切らせて頂きました。

立教182年 春の学生おぢばがえり



道につながる学生が、一人でも多くの仲間と共におぢばに帰り集い、学生にくださる真柱様のお言葉を心に治め、日々の生活を通る上での指針とする。さらにをやの思いを求め、共に次代を担うようぼくへと成人することを誓い合う場とする。

スローガン『次代を担うようぼくへ』

開催地：奈良県天理市天理教教会本部

日時：立教182年(平成31年)3月27日～29日(2泊3日)

集合：3月27日(水)AM9:30 天理駅近鉄改札前

解散：3月29日(金)PM3:30 天理駅

宿舎：本部第12母屋

内容：式典・直属アワー・別席・前夜祭・大阪フィナーレ・ブロックタイム・セレモニーなど

参加対象者：高校生(新一年生を含む)・大学生・大学院生・短大生・専門学校生

携行品：ハッピ、着替え(動きやすい服装)、防寒着、線面具、風呂道具、雨具、保険証(コピー可)、席札(別席者のみ)

参加費：4000円*当日納入して下さい。(初席を運ぶ場合の費用は含まれません)

申し込み：3月22日までに学生会の各支部委員長または学生担当委員に申込書を提出して下さい

問い合わせ先：Twitterアカウント第43期

天理教大阪学生会にメッセージをください。



★支部活動へのご質問等は組長にお尋ねください。

1組 大平六郎 ☎336-3185 西野々1丁目17-28

(副組長)松本篤司 ☎332-3746 阿保1丁目12-1

2組 綿谷善和 ☎336-5859 新堂5丁目324-4

3組 朝倉裕三 ☎331-7914 東新町5丁目18-15

4組 河竹久子 ☎331-3936 天美東2丁目165-1

教区・支部ねつと「松原支部」のページへ今すぐアクセス!

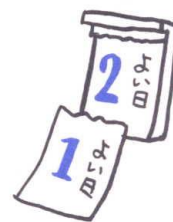


一年中みな吉日

日常生活において、旧習(きゅうしゅう)にとらわれない合理的な考え方が普及してきたかに見えますが、結婚式や葬式などの吉凶事に関しては、まだ縁起(えんぎ)をかつぐことが多くあります。結婚式には大安(たいあん)吉日を選び、葬式は友引(ともびき)を避けるといった具合です。

こうしたことについて、あるとき教祖(おやさま)は「不足に思う日はない。皆、吉(よ)い日やで。世界では、縁談や棟上げなどには日を選ぶが、皆の心が勇む日が、一番吉日やで」(『稿本天理教教祖伝逸話編』一七三「皆、吉日やで」と言われ、次のように教えられました。

- 一日(ついたち) はじまる
- 二日 たっぷり
- 三日 身につく
- 四日 仕合わせようなる
- 五日 りをふく ……



世間では、四は死に通じるとして、病院などではその部屋ナンバーを付けないところもあるようですが、実は四は幸せに通じるとなれば、それはもはや不要です。また、九は苦に通じると言いますが、教祖は、苦がなくなるということで、心次第によっては、むしろ喜ばしき日であり数であるとされたのです。

世間でいう吉日に結婚しても、それだけで後々うまくいくものではありません。それ以降、夫婦が心を合わせて生きてゆくとところに、良い運命がおのずと開かれるのです。

「この世は神のからだ」と教えられている以上、日についても、方角その他についても本来、吉凶はありません。天理教では、特定の場合に精進料理をすとか、豚を食べないなどという、食べ物に対する禁忌(タブー)がないのも、すべて親神様のお与えであるという思いが、その底に貫かれているからです。

《編集後記》 昨年はありがとうございました。月報「まつばら」を通して教区支部活動の情報をお伝えしたいと思っております。今年も支部活動の一助にと月報まつばらの手配り活動を推進し、支部内ようぼく一人一人の方とのネットワーク構築を進めて行きたいと思っております。また、お忙しい中、月報手配りひのきしんの上にご協力くださっている、ようぼくの方々に厚くお礼申し上げます。尚、紙面でお気付きの点がございましたら何でも御連絡下さい。(編集員一同)